

おおつち 議会だより

No. 172

2023年8月7日発行
発行 大槌町議会

主な内容

- 6月定例会・臨時会の概要・・・2～3
- 定例会・臨時会審議結果一覧・・・4～5
- 一般質問の項目・・・・・・・・・・6
- 一般質問の内容・・・・・・・・・・7～11
- 議会・委員会活動報告・・・12～13

令和5年6月定例会の概要

令和5年6月定例会は、6月2日から9日までの8日間の会期で開催されました。今期定例会には、大槌町監査委員及び大槌町固定資産評価審査委員会委員の選任のほか、大槌町副町長の定数を定める条例の一部を改正する条例、大槌町町税条例等の一部を改正する条例の制定のほか、令和5年度大槌町一般会計補正予算など、報告2件、議案15件が提案されました。また、一般質問には5議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をたどしました。

6月定例会議案 ピックアップ

◆議案一*

《委員の選任の同意》

▽大槌町監査委員の選任
について：菊池 信男氏
を選任することに同意を
求めるもの。



菊池委員

▽大槌町固定資産評価審査委員会委員の選任に
関し同意を求めることにつ
いて：田中 恭悦氏を選
任することに同意を求め

るもの。

(全員賛成・原案同意)



田中委員

《条例の制定・改正》

▽大槌町副町長の定数を
定める条例の一部を改正
する条例：副町長の定数
については、復旧・復興
事業を推進するため2人
としており、令和4年度
末に復興交付金を活用し
た事業が完了したが、今
後想定される日本海溝・

千島海溝周辺海溝型地震
などで起こり得る大規模
災害の発生に備えるため、
副町長の定数を2人から
2人以内へ変更しようとす

るもの。

(全員賛成・原案可決)

▽大槌町町税条例等の
一部を改正する条例：

地方税法等の一部を改正
する法律（令和5年法律
第1号）等が公布された
ことに伴い、個人の町民税
（の森林環境税を含む規
定の追加、特定小型原動
機付自転車に係る軽自動
車税種別割の改正など、
所要の改正をするもの。

（賛成多数・原案可決）
▽大槌町子ども、妊産婦、
重度心身障がい者及び
ひとり親家庭医療費給付
条例の一部を改正する条
例：（注1）令和5年8
月から岩手県の医療費助
成事業に伴う現物給付の
対象を高校生等（18歳

到達年度末）まで拡大す
るとともに、医療費自己
負担の無償対象を高校生
等（18歳到達年度末）ま
で併せて拡大し、子育て
世代への医療費負担の軽
減を図るため、所要の改
正をするもの。

(全員賛成・原案可決)

▽大槌町福祉医療資金
貸付基金条例の一部を
改正する条例：（上記
注1・提案理由と同じ）
（全員賛成・原案可決）

▽大槌町すこやか子育て
医療費給付条例の一
部を改正する条例：（上
記注1・提案理由と同じ）
（全員賛成・原案可決）

▽大槌町国民健康保険事
業財政調整基金条例の
一部を改正する条例：
平成20年4月から老人保
健法が高齢者の医療の確
保に関する法律に全面改
正されたことから、所要
の改正をするもの。

(全員賛成・原案可決)

▽大槌町集会所の設置
及び管理に関する条例
の一部を改正する条例
：集会所の使用料及び利
用料金の表記について、
他の施設の条例と整合を
図るため、所要の改正を
するもの。

(全員賛成・原案可決)

議案のここがポイント！

子育て世代への医療費
負担の軽減施策について
令和5年8月から県下
一斉に医療費給付事業の
現物給付（受給者が受給
者証と保険証を医療機関
の窓口へ提出し、受給者
負担額を支払うこと）対
象が高校生等（18歳到達
年度末）まで拡大されま

す。それを踏まえ町は、
高校生世代までの医療費
自己負担の軽減をより一
層図るため、町独自施策
により高校生世代までの
受給者負担をなしとする
ため、必要な条例の改正
を行うため今議会に上程
し、可決されました。

議会の動き

- （5月）
- 16日・議会運営委員会
- 18日・令和5年度東部町村議会
議長会定例総会
- 19日・令和5年第3回臨時議会
雁舞堂七福神会70周年
記念式典・祝賀会
- 22日・釜石地区行政事務組
合議会臨時会
- 23日・令和5年度町議会議員・
副議長研修会（東京都）
- 23日・令和5年度道路関係縦軸
2団体合同総会（宮古市）
- 25日・大槌商工会令和5年度通
常総会
- 27日・令和5年度大槌町戦没者
追悼式典
- 29日・大槌建設関連業界との意
見交換会
- 30日・議会運営委員会
- （6月）
- 2日・6月定例会（～9日）
・議会報編集特別委員会
・令和5年度大槌町シルバ
人材センター通常総会
- 6日・岩手県町村議会議長会臨
時総会（盛岡市）
- 11日・令和5年度大槌町消防演習
時総会（盛岡市）
- 13日・大槌町議会政務調査会
視察研修（～14日・気仙
沼市・一関市）
- 20日・令和5年度暴力追放釜石
地区会議総会（釜石市）
- 21日・令和5年度岩手県への要
望（釜石市）
- 26日・東松島・山田間三陸沿岸
道路連絡協議会設立総会
（釜石市）
- （7月）
- 18日・議会運営委員会
- 20日・大槌山田紫波線道路整備
促進期成同盟会総会
（盛岡市）
- 24日・令和5年第4回臨時会
に伴う安全祈願祭

6月定例会の概要

▽大槌町民水泳プールに関する条例を廃止する
 条例：東日本大震災津波により流出した赤浜分館の仮設建設地及び付帯施設として使用するためプールを解体したことから、条例を廃止するもの。
 (全員賛成・原案可決)

▽大槌町勤労青少年体育センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する
 条例：東日本大震災津波の復旧復興に係る防災集団移転促進事業による寺野白澤団地造成工事において、道路界、水路界の変更に伴う用地整理を行ったことにより、大槌町勤労青少年体育センターの土地の地番に変更が生じたことから、所要の改正をするもの。
 (全員賛成・原案可決)

▽大槌町立学校施設使用条例の一部を改正する
 条例：条文中の別表において、学校名が旧名称のまま記載されていることから、現状にあわせ、所要の改正をするもの。
 (全員賛成・原案可決)

▽林業者等健康増進施設の設定及び管理に関する条例の一部を改正する
 条例：東日本大震災津波の復旧復興に係る防災集団移転促進事業による寺野白澤団地造成工事において、道路界、水路界の変更に伴う用地整理を行ったことにより、林業者等健康増進施設(寺野多目的体育館)の土地の地番に変更が生じたことから、所要の改正をするもの。
 (全員賛成・原案可決)

▽林地に係る公共施設の総合整備計画の変更について：公共施設である小槌地区多目的集会所や非常備消防施設を従前より受益者として利用してきたことから、当該地域を一体的な辺地として振興を図っていくよう、区域を拡大するため、計画の変更をするもの。
 (全員賛成・原案可決)

《その他》

令和5年第3回臨時会
 は5月19日に開催され、承認2件、報告2件、議案2件が提案されました。

第3回臨時会

令和5年第3回臨時会
 は5月19日に開催され、承認2件、報告2件、議案2件が提案されました。

◆議案―*

《条例の制定・改正》
 ▽町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する
 条例について：「大槌町条例、規則の公布手続きの不備」、「消防計画の未作成」、「大槌町立図書館の指定管理者制度導入に係る条例の不備」に対する町長及び副町長の責任を明らかにするため、令和5年6月1日から同年8月31日までの間における町

号)を定めること：原油価格や物価高騰に対する町民生活、並びに経済活動の負担を軽減するため、事業費等の計上により補正し、歳入歳出予算に3億3,506万9千円を追加し、予算の総額を1億2億8,893万2千円とするもの。
 (全員賛成・原案可決)

◆承認―*

《専決処分の報告に関する承認》
 ▽大槌町町税条例の一部を改正する
 条例の専決処分の報告に関し承認を求めること：地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が令和5年3月31日にそれぞれ公布され、いずれも原則として同年4月1日から施行することとなったことに伴い、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したことを報告するもの。
 (全員賛成・原案承認)

《予算》
 ▽令和5年度大槌町一般会計補正予算(第3号)を定めること：食料等の物価高騰に直面する低所得者世帯及び子育て世帯を支援するための事業費計上により補正し、歳入歳出予算に6,474万円を追加し、予算の総額を109億5,386万3千円とするもの。
 (全員賛成・原案可決)

◆報告―*

▽特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する
 条例の専決処分の報告に承認を求めること：東日本大震災復興特別区域法第43条の地方税の課税免除または不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部を改正する省令が令和5年3月31日に公布され、原則として同年4月1日から施行することとなったことに伴い、特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正を専決処分したことを報告するもの。
 (全員賛成・原案承認)

▽工事請負変更契約締結の専決処分の報告：大槌町内道路照明等取替(LED化)工事において、現場再精査による数量の確定に伴う金額変更により、396万1,100円増額し、事業費総額を6,850万6,900円とするもの。

定例会・臨時会議員出欠表

議席番号	議員氏名	第3回臨時会		6月定例会	
		5/19		6/2~9	
		出席	欠席	出席	欠席
1	菊池 忠彦	1	0	4	0
2	白澤 良一	1	0	4	0
3	佐々木慶一	1	0	4	0
5	澤山美恵子	1	0	4	0
6	阿部 三平	1	0	4	0
7	東梅 守	1	0	4	0
8	阿部 俊作	1	0	4	0
9	東梅 康悦	1	0	4	0
10	欠員	-	-	-	-
11	金崎 悟朗	1	0	4	0
12	阿部 義正	1	0	4	0
13	芳賀 潤	1	0	4	0
14	小松 則明	1	0	4	0

令和5年6月定例会 審議結果一覧

議案番号等	議 案 等	審議結果
報告第9号	繰越明許費繰越計算書について 令和4年度大槌町一般会計予算について、事業が翌年度に及ぶことにより、歳出予算を繰り越したことから報告するもの。	—
報告第10号	事故繰越し繰越計算書について 令和4年度大槌町一般会計予算について、避けがたい理由のため、年度内に支出が終わらなかった歳出予算を翌年度に繰り越したことから報告するもの。	—
議案第32号	大槌町監査委員の選任に関し同意を求めることについて 菊池信男氏を選任することに同意を求めること。	
議案第33号	大槌町固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて 田中恭悦氏を選任することに同意を求めること。	可決 (全員賛成)
議案第34号	大槌町副町長の定数を定める条例の一部を改正する条例について 副町長の定数については、復旧・復興事業を推進するため2人としており、令和4年度末に復興交付金を活用した事業が完了したが、今後想定される日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震などで起こり得る大規模災害の発生に備えるため、副町長の定数を2人から2人以内へ変更しようとするもの。	
議案第35号	大槌町町税条例等の一部を改正する条例について 地方税法等の一部を改正する法律(令和5年法律第1号)等が公布されたことに伴い、個人の町民税への森林環境税を含む規定の追加、特定小型原動機付自転車に係る軽自動車税種別割の改正など、所要の改正をするもの。	可決 (賛成多数)
議案第36号	大槌町子ども、妊産婦、重度心身障がい者及びひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正する条例について 令和5年8月から岩手県の医療費助成事業に伴う現物給付の対象を高校生等(18歳到達年度末)まで拡大するとともに、医療費自己負担の無償対象を高校生等(18歳到達年度末)まで併せて拡大し、子育て世代への医療費負担の軽減を図るため、所要の改正をするもの。	
議案第37号	大槌町福祉医療資金貸付基金条例の一部を改正する条例について 令和5年8月から岩手県の医療費助成事業に伴う現物給付の対象を高校生等(18歳到達年度末)まで拡大するとともに、医療費自己負担の無償対象を高校生等(18歳到達年度末)まで併せて拡大し、子育て世代への医療費負担の軽減を図るため、所要の改正をするもの。	可決 (全員賛成)
議案第38号	大槌町すこやか子育て医療費給付条例の一部を改正する条例について 令和5年8月から岩手県の医療費助成事業に伴う現物給付の対象を高校生等(18歳到達年度末)まで拡大するとともに、医療費自己負担の無償対象を高校生等(18歳到達年度末)まで併せて拡大し、子育て世代への医療費負担の軽減を図るため、所要の改正をするもの。	
議案第39号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について 公共施設である小鍬地区多目的集会所や非常備消防施設を従前より受益者として利用してきたことから、当該地域を一体的な辺地として振興を図っていくよう、区域を拡大するため、計画の変更をするもの。	
議案第40号	大槌町国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する条例について 平成20年4月から老人保健法が高齢者の医療の確保に関する法律に全面改正されたことから、所要の改正をするもの。	
議案第41号	大槌町集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 集会所の使用料及び利用料金の表記について、他の施設の条例と整合を図るため、所要の改正をするもの。	
議案第42号	大槌町町民水泳プールに関する条例を廃止する条例について 東日本大震災津波により流出した中央公民館赤浜分館の仮設建設地及び付帯施設として使用するため、施設を解体したことから、条例を廃止するもの。	
議案第43号	大槌町勤労青少年体育センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 東日本大震災津波の復旧復興に係る防災集団移転促進事業による寺野白澤団地造成工事において、道路界、水路界の変更に伴う用地整理を行ったことにより、土地の地番に変更が生じたことから、所要の改正をするもの。	

定例会・臨時会審議結果一覧

令和5年6月定例会 審議結果一覧

議案番号等	議案等	審議結果
議案第44号	大槌町立学校施設使用条例の一部を改正する条例について 条文中の別表において、学校名が旧名称のまま記載されていることから、現状にあわせ、所要の改正をするもの。	可決 (全員賛成)
議案第45号	林業者等健康増進施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 東日本大震災津波の復旧復興に係る防災集団移転促進事業による寺野白澤団地造成工事において、道路界、水路界の変更に伴う用地整理を行ったことにより、土地の地番に変更が生じたことから、所要の改正をするもの。	
議案第46号	令和5年度大槌町一般会計補正予算(第4号)を定めることについて 原油価格や物価高騰に対する町民生活、並びに経済活動の負担を軽減するための事業費等の計上により補正し、歳入歳出予算に3億3,506万9千円を追加し、予算の総額を112億8,893万2千円とするもの。	

令和5年第3回臨時会 審議結果一覧

議案番号等	議案等	審議結果
議案第17号	大槌町町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告に関し承認を求めること 地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が令和5年3月31日にそれぞれ公布され、いずれも原則として同年4月1日から施行することとなったことに伴い、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したことを報告するもの。	可決 (全員賛成)
承認第2号	特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告に関し承認を求めること 東日本大震災復興特別区域法第43条の地方税の課税免除または不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部を改正する省令が令和5年3月31日に公布され、原則として同年4月1日から施行することとなったことに伴い、特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正を専決処分したことを報告するもの。	
報告第7号	工事請負変更契約締結の専決処分の報告 大槌町内道路照明等取替(LED化)工事において、現場再精査による数量の確定に伴う金額変更により、396万1,100円増額し、事業費総額を6,850万6,900円とするもの。	—
報告第8号	損害賠償額の専決処分の報告 町道のグレーチングの瑕疵による物損事故に係る損害賠償額(6,831円)の専決処分の報告をするもの。	—
議案第30号	町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例について 「大槌町条例、規則の公布手続きの不備」、「消防計画の未作成」、「大槌町立図書館の指定管理者制度導入に係る条例の不備」に対する町長及び副町長の責任を明らかにするため、令和5年6月1日から同年8月31日までの間における町長及び副町長の給料を減額するため、所要の改正をするもの。	可決 (全員賛成)
議案第31号	令和5年度大槌町一般会計補正予算(第3号)を定めることについて 食料等の物価高騰に直面する低所得者世帯及び子育て世帯を支援するための事業費計上により補正し、歳入歳出予算に6,474万円を追加し、予算の総額を109億5,386万3千円とするもの。	

～町政を問う～

一般質問に5議員が登壇

令和5年6月定例会の一般質問は6月7日～8日に行われ、5議員が登壇し、活発な議論が展開されました。大槌町では、一人60分以内の制限時間で質問を行いますが、本紙面の都合により要約していますので、ぜひ議場に足を運んでいただき傍聴してください。6月定例会の会議録は、8月下旬(予定)に町のホームページに掲載されます。

質問議員(質問順)	質問事項	掲載頁
1 澤山美恵子 議員	①県立釜石病院について ②協働地域づくり推進課について ③大ケ口地区への避難施設の整備について	P7
2 臼澤良一 議員	①町長の町政運営について ②環境行政について ③災害援護資金貸付金について	P8
3 阿部俊作 議員	①防災について ②子育て支援について ③産業振興について	P9
4 東梅康悦 議員	①グループホームについて ②町道三枚堂線について	P10
5 菊池忠彦 議員	①アフターコロナ観光回復について ②祈りの場の概念について ③大槌町地域公共交通計画について	P11

下記QRコード、または、7P～11P議員の顔写真の下にあるQRコードから、一般質問の録画画像（ユーチューブ）が視聴できますので、ぜひご利用ください。



大槌町議会チャンネル
QRコード



ユーチューブに配信している画像イメージ

県立釜石病院での分娩再開を

県知事との懇談会で強く要望



澤山 美恵子 議員



県立釜石病院について

【問】築40年以上の県立釜石病院の建て替えについて、県は劣化状況を踏まえ、計画的に改修を進めるとの方針を示しているが、町はいつ頃になると把握しているのか。

【答】（平野町長）

劣化調査の結果は「建物の躯体に問題はないものの、設備の劣化が進んでいることから、優先的に対策の検討を進めている」との回答があり、整備計画については、「建替と改修の投資規模やその効果の比較、県立病院全体に及ぼす影響等の様々な視点を考慮し、整備について検討してい

く」との回答にとどまっています。

【問】県立病院の使用年数が60年に引き上げられるとの報道は把握しているのか。

【答】（平野町長）

使用年数については「改修工事を計画的に行うために設定する目標値であり、その実施に当たっては老朽化の状況、医療提供体制の変化等を踏まえ、建替え等も含めたうえで総合的に判断している」とされている。改めて県に確認したところ、整備計画を示す時期は未定との回答である。

【問】県の回答には冷たいものを感じる。釜石病院の現状や今後について、

県と町が合同で住民説明会を開いてはどうか。

【答】（小國健康福祉課長）

様々な角度から検証し、幅広くご意見を聞きながら、検討を進めていく。

【問】普通分娩の再開は非常に厳しい状況だが、住民の声を県や国に何度も要望する必要があるのではないのか。

【答】（平野町長）

県には私たちの思いが伝わっていないんじゃないかと思う。6月21日の県知事との懇談会では第一項目にあげており、強く要望していききたい。

【問】ファミリー・サポート・センターは子育て支援を行いたい人と受けた人が会員となって支え合う有償ボランティア組織だが、大槌町での実施予定は。

【答】（平野町長）

本年度は釜石市のセンターを大槌町民も利用できるようになったが、町独自で実施できる体制を早期に構築することが重

要と認識している。サポーターの掘り起こしと育成が急務であり、核となる事業者等の協力も不可欠である。

【問】産前産後ケアの回数と中身の充実を検討出来ないか。

【答】（小國健康福祉課長）

直接、妊産婦の自宅に伺い、家事や子供の面倒を見る制度を行う自治体もある。より直接的な支援を充実させていきたい。

協働地域づくり推進課について

【問】震災伝承プラットフォーム事業の今年度の予定は。

【答】（平野町長）

昨年度に開発した「語り部育成コンテンツ」を活用して、震災語り部認定講座を開催する。また教育現場に対応した「震災教育コンテンツ」開発に取り組む。

【問】震災伝承の場の方針はいつ決まるのか。また、そこに何かを整備するとなった場合、町の予

算で賄うのか。

【答】（平野町長）

（仮称）鎮魂の森、旧民宿あかぶ跡地と旧役場庁舎跡地での伝承のあり方は検討中である。何らかの整備については未定であり、年度内に方針をまとめたい。

【問】その方針には、今年3月に町職員遺族から要望があったという「現場職員の慰霊碑整備」についても示されるのか。

【答】（平野町長）

しっかりと議会や町民の方々に説明をして、同意を得た形で進める。

大ケ口地区への避難施設の整備について

【問】昨年の9月定例会においても議論となったが、現時点での整備時期など今後の見通しは。

【答】（平野町長）

今年度末までに大臣同意をいただき、来年度から事業に着手できるように、しっかりと準備を進めていきたい。



白澤良一議員



今後どのような町政運営を行うのか

町民が安心安全と感じ、希望を持って
住み続けたいと思えるような努力を積み重ねていく

町長の町政運営について

【問】町の不祥事について、町長や副町長ご自身の問題と受け止めて反省しない限り、町民も納得しないのではないか。

【答】（平野町長）
管理監督する私の責任だが、職員は自分の仕事を掌握することが必要。管理職、担当者が厳格なエック体制をする必要がある。

【答】（北田副町長）
毎日、100件程の決裁文書进行处理する中でヒューマンエラーとして出ている。人間に頼らない仕組みを作る必要がある。

【問】任期中に組織体制の構築や人材育成ができてなかった理由は。

【答】（平野町長）
職員が育っていないという指摘だが、決してそうではないと思っている。職員は業務にしっかりと取り組む、日夜寝ずに頑張っている。多くの職員がまちづくりのために身を粉にして働いていることをご理解いただきたい。



第三者委員会答申書(写)

環境行政について

【問】海洋プラスチック汚染削減に向けて、大槌町でも数値目標を設定すべきではないか。

【答】（平野町長）
数値化については、環境基本計画における各施策の達成と併せ、実施に向けた取組を図っていき

【問】二酸化炭素の排出実質ゼロを表明することにより環境省から支援を受けられるので、宣言には前向きに取り組んでほしいが見解は。

【答】（小笠原町民課長）

町内における温室効果ガスの削減見込み量を試算する必要がある。温室効果ガスの吸収および排出の指標と合わせ、どう取り組んでいくべきかが示されていく。これらの方向性が見えた後、どのタイミングで宣言したらよいか考えていきたい。



役場庁舎に設置の太陽光パネル

災害援護資金貸付金について

【問】高齢になり、病を抱えて高額な医療費を払うような状況になった年金生活者にとっては返済の目処が立たず、期日になっても返済できないとの声も聞こえている。利用者の中で、期限内の完済が困難と見込まれる方の人数と金額は。

【答】（平野町長）
昨年度末時点で16人。金額は約3,251万円。当町の滞納件数の割合は県平均の26.8%を大きく下回る3.4%となっている。

【問】必要な場合は福祉につなげるなどの支援を行うことも大事ではないか。

【答】（平野町長）
定められた償還額による返済が困難な場合は、少額償還に切り替えている。行政機関のみでの対応が難しい場合は専門家につなぐなど、適切に対処している。

【問】被災自治体から返済期間の延長を求める声が上がっている。当町も連携して要望活動を強めるべきではないか。

【答】（平野町長）
国に強く要望していく。

給食費の無償化を

総合的に検討する



阿部 俊作 議員



防災について

【問】東日本大震災津波から12年が立ち、街並みが形成された後で、浸水域拡大想定に対処するには、避難を迅速かつ安全に行わなければならない。避難ルート、避難所、避難所運営について伺う。

【答】（平野町長）避難ルートは、大槌町津波避難計画の説明会で、町民の意見を聞きながら、選定しているところである。避難所は17施設を指定している。避難所運営は年4回運営訓練を実施している。防災マップは町内の学園の防災学習に活用している。

【問】大災害を経験した私たちだからこそ、未来に向けてしっかりと伝えることと、時代の科学進歩に合わせて常に防災を意識することが大事と考えるが見解は。

【答】（平野町長）精度が向上した気象予報などについて、盛岡地方気象台による防災研修を毎年実施しており、最新の知見を取得している。実際の災害時には、盛岡地方気象台と連絡を密にして、避難情報の発令を行うこととしている。

子育て支援について

【問】子どもにとって、食

事は将来を左右しかねない大事なことである。子育て世帯を支援するにあたり、学校給食の無償化を考えてほしい。県内の市町村でも学校給食費を無償化するところが増えてきている。大槌町でも無償化は可能ではないか。

【答】（松橋教育長）県内他市町村で給食費を無償化しているところが増えてきていることは承知している。物価高騰の影響は子育て世帯に限らず町民全体に及んでいる。子育て支援策は給食費の無償化だけでなく、限られた財源を効果的に配分する必要がある。

【問】財源は「ふるさと納税」の活用も検討できるのではないか。

【答】（太田企画財政課長）今年度のまちづくり事業9億9千万円のうち、ふるさと納税は5億円を活用する見込みである。

今年度のふるさとづくり基金は、5億円程度が目減りしていく。

現在のふるさとづくり基金残高は約50億円程度あるが、このまま各種事業に充当していけば、10年で枯渇する見込みである。

給食費の無償化は子育て支援の大事な事業である。ふるさと納税寄附金の増額に取り組む。



大槌学園の学校給食

【答】（平野町長）昨年度水揚げ数量184トン、水揚金額2,074万円。魚種割合は、イワシなどその他の魚類53・4%、さば類43・9%、いか類1・8%となっている。

これまでの主力魚種であった、さけます類は0・8%で秋鮭の不漁が水揚不振に影響を及ぼしている。

【問】町内の漁船漁業者数と漁業組合員数の推移はどうか。

【答】（平野町長）漁船漁業経営体は143経営体で、内訳は、かこ漁業98経営体、刺し網漁業23経営体、底引き網漁業22経営体となっている。組合員数は准組合員含め、平成31年度256名、令和5年度235名で、4年間で21名の減となっている。

産業振興について

【問】町の基幹産業である漁業の現状について尋ねる。定置網漁業の魚種、漁獲高を尋ねる。



東梅 康悦 議員



グループホームの設置は

早期実現に向け取り組む

グループホームについて

【問】町では「大槌町障がい福祉プラン」を掲げ、多様な障がい者施策を事業推進し、町内にも事業所や施設も複数あり利用されているが、グループホームについては、プランにはあるものの設置には至っていない。今年度は「大槌町障がい福祉プラン」の基本計画及び実施計画の最終年度であり、次期計画の策定に着手する年度でもある。グループホームの設置に取り組むべきではないか。

【答】（平野町長）

先の3月定例会におけ

る議論を踏まえ、今年3月に釜石市、4月に山田町のグループホームを現地視察し、施設内の設備や利用状況等を直接確認した。管理者及び従事者からの説明等を聞く中で、改めてその必要性を強く感じた。本年度策定する次期「大槌町障がい福祉プラン」に整備することを明確化し、早期実現に向けた具体的な取組を着実に進めていく。なお、グループホームは原則として、住まいの提供及び夜間支援が主となることから、関係機関・団体等と協議を図りながら福祉的就労に向けた支援や地域で活動できる場の提供など、日中活動の

あり方についても併せて検討していく。

【問】現在、サービスを提供している町内事業所との連携は。

【答】（小國健康福祉課長）
民設・民営の運営を考えており、これから具体的なスキームを構築することになる。

【問】町出身者のグループホームの利用状況は。

【答】（小國健康福祉課長）
釜石市3名、宮古市3名、大船渡市1名、内陸部7名、青森県1名の15名。日中活動との連携による利用となっている。



釜石市にあるグループホーム「フルセイル平田」

町道三枚堂線について

【問】平成9年3月に道路認定されたが、実施されなかった。町道小鍬線の改良工事も完了した今、町道三枚堂線についても取り組むべきではないか。

【問】用地の調査はいつ頃か。

【答】（中野地域整備課長）
今年度中に地権者調査を始めたいと考えている。

【問】用地調査後の取り

組みは。

【答】（中野地域整備課長）
用地の地権者・筆数を調査後、地権者協議を行い、問題がなければ予備設計をした上で、県との協議を行う。その後、再度地権者との協議となる。地域への説明は県との協議と同時期になる。



未整備の町道三枚堂線（小鍬川右岸・赤点線部）

アフターコロナ、観光回復に向けての施策は

新たな視点での対応策を検討していく



菊池 忠彦 議員



アフターコロナ観光回復について

【問】全国旅行支援が期間延長で実施されているが、これまで町内の宿泊・飲食業がその恩恵を享受しているのか、併せてコロナ禍からの回復度合いを問う。

【答】（平野町長）

町内数社の事業者をヒアリングしたが、宿泊施設及び飲食店の規模や営業時間など条件が異なるため、効果は様々であると捉えている。宿泊施設、飲食業共に利用客が増加傾向ではあるが、コロナ禍前と比較すると依然厳しい状況が続いている。

の活用についての方向性、併せて施策を問う。
【答】（平野町長）郷土芸能を観光コンテンツとして取り組む「小籠神社かがり火の舞」は、町内外から好評を得ており、町内宿泊者への見て感じて触れる機会を提供している。限られた資源ではあるが、伝統や文化を継承しつつ、新たな視点による大槌ならではの観光メニューを提供できるように、町内関係者と一体となり、観光施策の展開と交流人口の拡大を図っていく。

【問】着工予定の「仮称鎮魂の森」が犠牲者思い折る、町全体の追悼の場だとする一方で、旧役場庁舎跡地には相変わらず祈りの対象物でもある「地藏尊」が設置され続けている。跡地を伝承の場とするならば、しっかりとそれぞれの役割に対して線引きをし、対策を講ずるべきと思うが、町の見解は。
【答】（平野町長）「地藏尊」については、町内外の支援者によって設置された経緯がある。私としては町全体の追悼や鎮魂、復興への思いがあるものと重く受け止めて、町で整備する（仮称）鎮魂の森への移設を念頭に考えている。

祈りの場の概念について

【答】（平野町長）様々なコンテンツに磨きをかけることになるので、しっかりと情報発信をして観光客を呼び込むという努力をしたい。

【問】津波の犠牲になられた職員のご遺族の一部の方々が、旧役場庁舎跡地に芳名碑の設置を求めている。しかし、他に津波の犠牲になられた町民との公平性を保つという観点から考えれば、町民・議会の理解を得るにはすごく難しいと感じる。町有地を提供するのであれば、現庁舎の一角でも良いのでは。
【答】（平野町長）一部の役場職員から、現庁舎付近設置に前向きな声も聞こえてくるのは確かだ。まずは町民、議会としっかりとした協議、調整を行う必要があると考える。原則は「仮称鎮魂の森」に一括して名前を刻もうと考えており、それも踏まえてしっかりと判断していく。

大槌町地域公共交通計画について

【問】令和4年4月から、交通不便地域におけるデマンド型交通（乗合タクシー）を実証実験運行しているが、これまでの効果、今後の課題について問う。

【答】（平野町長）

登録者アンケート調査の便利な点の回答では、「自宅そばで利用ができる」が79%を占めており、バス停まで距離がある高齢者等の課題解消につながっている。仮に利用者が増加した場合、予約人数制限を設ける必要がある。これにより利用者は外出の予定が立てにくくなり、利便性が後退することが課題であると認識している。

【問】町民バスについて、

減便やコスト削減の話だけではなく、町民の移動手段に関して必要な経費をいかに負担していくかを議論することで、利便性が高く、かつ持続可能な公共交通の方向性を見出せると思うが、当局の見解は。
【答】（太田企画財政課長）利便性を高めるために町民バスの小型化について以前から議論しているが、今回スクールバスを無償譲渡して老朽化の更新を図る計画である。町に使える車両がまだあるので、いきなりの小型化は難しいが、今後の状況により、小型化も視野に入

れながら検討していく。

大槌町議会政務調査会視察研修

令和5年6月13日に、大槌町議会政務調査会視察研修で気仙沼市復興祈念公園を視察しました。

当該公園は震災10年となる2021年(令和3年)3月11日に開園しました。公園内には、モニュメント・祈りの帆(セイル)、犠牲者銘板、寄附者銘板、伝承彫刻などが設置されていました。

公園内でひときわ目を引く、帆(セイル)の形をした高さ10メートルのモニュメントは、船体に使用されるアルミ鋼材で出来ており、復興祈念公園アイデアコンペの入賞作品を融和してデザインされたもので、復興祈念の象徴としてつくられました。内部には献花台が設置されており、内部から望む水平線に向かい、祈りを捧げることができます。

また、犠牲者銘板は、御遺族の御承諾のもと、犠牲となられた方々お一人お一人の御芳名と享年を刻み、生前にお住まいだった地区の方角に向けて、世帯単位の五十音順に並べられています。

当町においても、(仮称)鎮魂の森整備工事(その1)が令和5年7月21日から始まりました。本工事では、追悼施設工事、造成工事、電気工事、給水配管工事、排水工事等が行われます。

その後、トイレ棟新築工事、土木(2期)工事が行われる予定で、令和7年7月の完成を目指しています。



祈りの帆(セイル)入口



犠牲者銘板



地域の振興発展に寄与

～令和5年度高齢者叙勲(旭日単光章)を受章～

元大槌町議会議員の澤山重夫さんが、高齢者叙勲(旭日単光章)を受章され、6月2日に平野町長から伝達を受けられました。

澤山さんは平成7年から平成19年までの3期12年にわたり、町議会議員として在職し、産業建設常任委員会委員、総務常任委員会委員長などを歴任、平成15年から平成19年までの4年間は副議長として町の産業振興、教育文化、福祉、生活環境の向上に多大な貢献をされました。また、議員以外にも多くの役職を務めあげられた功績が称えられ、この度の受賞となりました。



澤山重夫さん

委員会活動報告

産業建設常任委員会

～大槌建設関連業界との意見交換会～

去る、令和5年5月29日(月)、産業建設常任委員会(菊池忠彦委員長)は、町内の建設関連業界の皆様との意見交換会を開催しました。本意見交換会は、町内の建設関連業界の皆様からの申し入れにより開催に至ったもので、町内建設関連業界から12社、計14名が参加し、4つのテーマに沿って活発な議論が行われました。

今回の意見交換会で出された意見や要望等を踏まえ、産業建設常任委員会で取りまとめた上で、必要に応じて町への要望も視野に入れて検討を行ってまいります。

以下、意見交換会で議論した4つのテーマや意見等を掲載します。



産業建設常任委員会委員

①公共事業の減少について

東日本大震災津波後の復興関連工事等の完了に伴い、仕事がなくなることはある程度想定していたが、その想定以上に仕事なくなっている現状である。また、当町と近隣市町村の公共工事発注状況を比較しても、当町の発注件数は大幅に少ない状況であり、大変厳しい状況となっている。

②修繕が必要と思われる危険個所の対応について

復興工事が行われた地域をはじめ、震災の影響は受けなかったものの老朽化している道路や施設、危険箇所等が混在している各地域の懸念箇所を数年前から調査し、取りまとめ、町民の安心安全に役立てるように資料を作成している。これらを参考に、災害に強い安全安心なまちづくりに生かしていただきたい。

③現場視察について

町内における修繕等が必要と思われる危険箇所等について取りまとめた資料だけでは分かりづらい箇所もあるため、ぜひ一緒に現場視察を行っていただき、総合的な判断のもと、対応の可否をしていただきたい。

④担当課との協議について

公共工事等の減少問題、災害等危険箇所の修繕対応、現場視察等について、役場担当課への協議をぜひ進めていただきたい。また、議会の一般質問に取り上げるなど、問題提起をしていただきたい。



町内建設関連業界の方々





表紙写真の紹介



本号の表紙の写真は、一般社団法人大槌町シルバー人材センターによる町道の除草作業の様子です。蒸し暑い中、頑張っておられました。普段の仕事内容について事務局長の小林さんにお話を伺いました。

Q 会員は何名いらっしゃるので、106名ですか？
A 令和5年6月現在で、106名です。

Q 主にどのような仕事をしていますか？
A 役場から依頼がある公共的な仕事（宿日直業務・除草作業等）の他、民間企業からの依頼、個人からの依頼があります。草刈り・草取り等の屋外作業、屋内清掃や家具移動等の屋内作業、障子や襖の張替え等の技能作業、通院介助や掃除洗濯などの家事援助など、仕事内容は多岐にわたります。これからの時期

は、お墓の清掃依頼が多くなります。

シルバー人材センターは60歳以上の高齢者に生きがいの充実と生活の安定を図るため、働く機会を提供するとともに、地域社会の発展や現役世代の下支えを推進することを目的とする公共的な団体です。"様々な仕事のご要望に対応しておりますので、まずはご相談ください。"とのことでした。

大槌町シルバー人材センターの皆さん、取材を快くお引き受けいただき、本当にありがとうございました。今後とも体調管理には十分注意し、安全作業をお願いします！



町議会を傍聴してみませんか

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議場で開かれます。町で今何が課題となっているかなど、議場での議員の活動を実際に見て、知っていただく機会です。傍聴の手続きは簡単ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。また、定例会の様子は「おおちゃんねる」、「YouTube」でも視聴いただけます。

● 9月定例会は10月初旬開会予定です（注：予定は変更される場合があります）

編集後記

▼強い日差しと暑さも日毎に増し、子供たちはアイス、大人はキンキンに冷えたビールが美味しい季節になりました。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。さて、今回の議会だよりは、このメンバーとしての最後の議会だよりとなります。わかりやすく、親しみやすい議会だよりを目指して、委員一丸となって取り組んで参りました。いかがでしたでしょうか。今後も、皆様に分かりやすい議会だよりとなるよう、頑張ってお参りますので、皆様からのご意見、ご感想などお聞かせいただければ幸いです。まだまだ暑い日が続きます。夏風邪などひきませぬよう、体調に気を付けてお過ごしください。

(澤山美恵子)

議会報編集特別委員会

- 委員長 阿部 俊作
- 副委員長 菊池 忠彦
- 委員 東梅 康悦
- 委員 阿部 三平
- 委員 澤山美恵子
- 委員 白澤 良一